

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 6月号

令和6年 6月 3日

校長 楠山 小百合



教育実習生にインタビュー



5月13日(月)から大学生(菊池さん・野間さん)が教育実習にきています。二人ともこの松浪地区で育ち、また菊池さんは3~6年生をこの汐見台小学校で過ごした卒業生です。地域の宝である二人が教育の仕事に携わろうとしていることを、本当にうれしく思います。そんな二人に教育実習を2週間終えたところで、汐見台小学校についてインタビューをしてみました。

質問① 教育実習が半分終わりました。汐見台小学校や実習についての感想を教えてください。

【菊池さん】とにかく毎日が楽しいです。休み時間や授業参観に行くと、担当のクラス以外の子どもたちからも声をかけてくれたり、一緒に遊んでくれてうれしいです。学年を越えて名前を知っていたり、交流があることは昔と変わらないと感じました。

【野間さん】全学年が仲がいいし、つながりや団結力を感じます。他のクラスの授業参観に行っていると、担当のクラスの子どもたちが「どこに行ったの?」と聞いてくれて、私をクラスの一員で仲間と思ってくれている存在感を感じてうれしいです。



質問② 教育実習2日目から二人の提案で始めた「あいさつ運動」について教えてください。

【菊池さん】小学生の頃、西門の前でクラスの仲間と「あいさつ運動」をしていました。松浪中でも生徒会を中心に行っていました。あいさつをすることで、子供たちとの距離が近くなればいいなと思い、始めました。

【野間さん】子供たちは、大きな声でしっかりとあいさつをしてくれます。初めは遠くからのあいさつだったけれど、だんだんそばに寄ってきてあいさつをしてくれます。朝から「今日も一日頑張ろう!」と元気をもらえます。

質問③ 子どもたちが歌っている校歌や愛唱歌は聴きましたか? 感想を教えてください。

【菊池さん・野間さん】まだ聴いていません。ぜひ聴いてみたいです。

【菊池さん】創立当時、児童の言葉を集めて作った愛唱歌には思い出があります。最初のフレーズに「しおかげがかおる わたしの学校」という歌詞がありますが、このような学校は汐見台小学校だからこそその歌詞で、私の誇りの学校です。

私は、これまで何人もの教育実習生を見てきましたが、「あいさつ運動」のように自分たちから企画し在校生のために活動する実習生を見たことがありません。松浪地区がずっと「あいさつの街」として取り組んできたことも二人の中にきっとあるのでしよう。二人のお話を聞いて、卒業しても子どもたちの心に残る学校となるように、教職員が力を合わせなければならないと改めて感じました。

今年も 田植えの季節がやってきました!!

一昨年度より再開した汐小の米づくり。今年も屋上の田んぼを使って、5年生を中心に取っています。

5月16日(木)には、10名の保護者の方々のご協力をいただき、1階から屋上まで土運びをしました。24日(金)には5年生が田おこしを終え、田んぼに水を張り、30日(木)には、1回目の代かきをしました。

今年も1年生には、代かきのお手伝いをしてもらい、田んぼとふれあってもらいます。その後は、いよいよ5年生の田植えとなります。今年も、うるち米「はるみ」を育てます。

「田植え」に、地域・保護者の皆様のお手伝いをいただければ幸いです。

参加可能な方は、裏面のQRコードよりご登録ください。



1年生「田んぼの代かきお手伝い」

6月 7日(金) 1・2校時(8:45~)

5年生「田植え」

6月11日(火) 2・3校時(9:35~)

***雨天・延期の場合 12日(水) 2・3校時(9:35~)**